

2020年1月24日

# 横浜美術館コレクション展 2020年2月15日(土)ー5月24日(日)

## 「横浜美術館の西洋美術

### 木版挿絵からボルタンスキーまでー絵画・版画・写真・彫刻」

## 横浜美術館

この展覧会は、横浜美術館コレクションの西洋美術に焦点を当て、絵画、版画、写真、彫刻を美術史の流れに沿って構成します。西洋美術だけのコレクション展は当館で初めての企画です。

横浜美術館は西洋作家による油彩画、水彩素描、版画、彫刻を合わせて約1,000点所蔵しています。なかでもダリの《ガラの測地学的肖像》やマグリットの《王様の美術館》をはじめとするシュルレアリスムの作品群と、シュヴィッターズやタトリンなど、20世紀前半にそれまでの美術の概念を覆したダダや構成主義の作品、そしてセザンヌの《ガルダンヌから見たサント=ヴィクトワール山》やピカソの《肘掛け椅子で眠る女》、ブランクーシの《空間の鳥》などのフランス近代美術は当館コレクションを特徴づけるものとなっています。



ポール・セザンヌ 《ガルダンヌから見たサント=ヴィクトワール山》  
1892-95年 油彩・カンヴァス 73.0×92.0cm

今回はそれらに加え、これまで展示される機会の少なかった作品を数多くとり上げます。横浜に暮らした登山家・随筆家で版画コレクターでもあった小島烏水こじまうすい旧蔵の16世紀から19世紀にかけての西洋版画は見どころのひとつです。ウルス・グラーフの木版画《百卒長のいるキリスト磔刑》は、1470年頃より盛んになった木版画と活版印刷のテキストを組み合わせた初期挿絵本のひとつ、『リンクマンの受難伝』（1506年シュトラスブルク初刊）の中の一葉です。また、17世紀のヨーロッパを代表する風景画家クロード・ロランによる数々のスケッチを、精緻な観察と高度な技術によって版画化したアルバム『ミュージアム・クロード』（1840年頃刊）は、写真発明以前の手仕事による複製芸術の重要な作例です。小島烏水旧蔵版画コレクションにはさらに、バルビゾン派のコローやドービニー、印象派のマネ、ドガ、ルノワール、キュビズムやフォーヴィスムなど20世紀の新たな表現を開拓したピカソやマティスの版画作品が含まれています。



ウルス・グラーフ 《百卒長のいるキリスト磔刑》  
1506年頃 木版 21.8×15.5cm

19世紀半ばの写真の発明以降、美術と写真は様々な形で深く関わりあってきました。ダゲールと並ぶ写真の発明者のひとりタルポットは、風景画制作の補助として写真技術に取り組みました。それまで手仕事であった複製版画に写真技術が応用され、19世紀末から20世紀初頭にかけて名作の印刷図版が大量に出回るようになると、美術鑑賞のありかたが大きく変化します。他方、写真の普及は美術家たちに複数のオリジナルが制作できる銅版画や木版画への関心呼び起こしました。20世紀に入ると、写真は美術の表現自体に大きな影響を与えるようになります。ダダや構成主義、シュルレアリスムの美術家たちは写真を絵画の中に取り入れたり、自ら写真作品を手掛けたりようになります。写真や複製技術を戦略的に応用したポップアートは、今日ますます高度化する複製技術の時代を象徴するアートといえるでしょう。現代の美術家ボルタンスキーは、ホロコーストの犠牲になったかもしれないウィーンのユダヤ人学校生徒の卒業アルバムを複製して作品中に用い、観る者が生と死を再考するための重要な要素としています。

本展は、1982年以来三十余年にわたる横浜美術館の西洋美術収集の成果を幅広くご覧いただくとともに、木版挿絵からボルタンスキーに至る西洋美術500年の歴史をたどりながら、絵画、版画、写真、立体作品を通して美術における手仕事と複製技術の豊かな関係に思いを馳せていただく展示を目指します。

## 展示構成(予定)-----

第1章 近代以前の美術

第2章 19世紀の美術① アカデミズムと近代の胎動

第3章 19世紀の美術② フランスの近代 バルビゾン派からセザンヌまで

第4章 20世紀の美術① キュビズムとフォーヴィスムの美術家たち

第5章 20世紀の美術② ダダとその前夜、構成主義

第6章 シュルレアリスムの美術

第7章 第二次世界大戦後の美術

[グランドギャラリー] ブランクーシとシュルレアリスムの彫刻

[ホワイエ] イサム・ノグチの彫刻



クロード・ロラン(原画)・フレデリック・クリスチャン・ルイス(刻)  
『ミュージアム・クロード』パート3、No.4  
1840年 エッチング、アークアチント 19.5×24.8cm 小島豊氏寄贈(小島島水旧蔵)



ジョルジュ・ブラック《静物Ⅱ》  
1912年(1953年刷り) エッチング 32.6×45.5cm  
©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2019 C3129



アンドレ・マッソン《ナルキッソス》  
1934年 油彩・カンヴァス 114.0×94.0cm  
©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2019 C3129



クルト・シュヴィッターース《メルツ絵画 1C 二重絵画》  
1920年 アッサンブラージュ、油彩、厚紙、木 15.6×13.7cm



クリスチャン・ボルタンスキー《シャス高校の祭壇》  
1987年 写真、金属の(ビスケットの)箱、電球、電線  
245.0×210.0×23.0cm  
©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2019 C3129



**展覧会のみどころ****○当館で初めての西洋美術だけで構成されるコレクション展！**

横浜美術館所蔵の西洋作家による油彩画、水彩素描、版画、彫刻合わせて約1,000点の中から選ばれた、珠玉の「西洋美術」作品と関連写真作品のみで初めて構成した企画です。当館の西洋美術収集の成果を幅広くご覧いただけるとともに、木版挿絵からポルタンスキーにいたる西洋美術500年の歴史をたどります。

**○必見！横浜に暮らした登山家・随筆家で版画コレクターでもあった小島烏水旧蔵の16～19世紀の西洋版画。**

今回は、これまで展示される機会の少なかった作品を数多くとり上げます。とりわけ、写真発明以前のイラストレーションの重要な作品で、16世紀初頭の木版画と活版印刷のテキストを組み合わせた初期挿絵本の一葉、ウルス・グラーフの木版画《百卒長のいるキリスト磔刑》をはじめとした、横浜の版画コレクター小島烏水旧蔵作品群は必見です。

**○フォト・ヨコハマ関連企画として写真作品に注目！**

2020年1月から3月にかけて、横浜市内各所で開催される写真や映像に関するイベント「PHOTO YOKOHAMA (フォト・ヨコハマ) 2020」のパートナー・イベントとして、19世紀半ばの写真技術の発明以降、現代にいたる美術と写真の様々なつながりを示す作品をお楽しみいただけます。



ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット  
《殉教者の記念塔》  
1844年 単塩紙 20.9×14.6cm

**関連イベント****○担当学芸員によるギャラリートーク**

展覧会担当学芸員が、本展のテーマや作品についてお話しします。

日時 2月28日(金)、3月21日(土)、4月18日(土)、5月3日(日・祝)  
いずれも14:00～14:30

会場 コレクション展展示室

参加費 無料(申込不要、当日有効の観覧券が必要)

**○エデュケーターによるギャラリートーク**

当館エデュケーターが、専門性を活かして様々な視点からトークを行います。

日時 3月13日(金)、3月27日(金)、4月10日(金)、4月24日(金) 14:00～14:30  
5月8日(金)、5月22日(金) 18:00～18:30

会場 コレクション展展示室

参加費 無料(申込不要、当日有効の観覧券が必要)

**基本情報**

横浜美術館コレクション展 2020年2月15日(土) - 5月24日(日)

「横浜美術館の西洋美術 木版挿絵からポルタンスキーまで—絵画・版画・写真・彫刻」

会場 横浜美術館 (〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1)

TEL: 045-221-0300 FAX: 045-221-0317 <https://yokohama.art.museum/>

開館時間 10:00～18:00 \*5月の金曜・土曜は20:00まで \*入館は閉館の30分前まで

休館日 木曜日

主催 横浜美術館 [公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]

観覧料 一般500(400)円 大学・高校生300(240)円 中学生100(80)円 \*小学生以下無料

\* ( )内は有料20名以上の団体料金(要事前予約)

\*毎週土曜日は、高校生以下無料(生徒手帳、学生証をご提示ください)

\*2020年3月28日(土)は観覧無料

\*障がい者手帳をお持ちの方と介護の方(1名)は無料

\*毎月第3月曜日は横浜市在住の65歳以上の方無料(「濱ともカード」をご提示ください)

\*企画展ご観覧当日に限り、企画展の観覧券でコレクション展もご覧いただけます

プレスリリースお問合せ

横浜美術館 広報担当 (藤井、山本、梅澤、桑原)

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-4-1

Tel: 045-221-0319 Fax: 045-221-0317 Email: pr-yoma@yaf.or.jp